



訓練を重ねて 地域の安心・安全を守る 市消防団春季訓練



①倒木撤去など対応を想定したチェーンソーの取り扱い訓練
②整列し団長などの点検を受ける団員



5月12日、中央運動公園グラウンドで、市消防団春季訓練を行いました。団長以下、407人の消防団員が参加。志垣健二団長から「地域住民の安心・安全のため活動していきたい」と訓示がありました。

訓練では消防署員の指導のもと、消防団員としての基本動作を身に付ける規律動作・通常点検訓練や、災害時の対応を想定したチェーンソー訓練を実施しました。参加した消防団員は、もしものときに備え、真剣な眼差しで訓練に汗を流しました。

人の動き ※4月末現在

人口 62,446(+103)
世帯 24,621(+102)

出生 41 (- 3)
死亡 31 (- 13)
転入 420 (-153)
転出 327 (-224)

※4月末現在。()内は前月比。

今月のキラッと輝く合志人(3ページ)では防災士の高山さんを取り上げている他、13ページでは新しい防災情報の表現についてもお知らせしています。ぜひ読んで、もう一度、災害への備えを確認してみてください。

雨といえは。先日、私にしては珍しく洗車してみました。「なんか白くなってるね」と指摘されることも多かった車体がきれいに。しかし、翌日は雨。しかも黄砂交じりの雨が続きました。車は数日で元の姿に。またはしばらくは洗車を敬遠しそうです。車には謝っておこうと思います。

小山

和顔愛語

初夏にしては気温の高い日が続き、最高気温が30度を超える日もあるこの頃。夏はまだまだこれからなのに、いったい真夏の気温はどうなってしまうんだろう。その前に、こしも梅雨の時期を迎えます。雨が增えれば災害の危険も増します。いつ起こるか分からない災害には、何よりも普段からの備えが大切。きちんと身を守るようにしておきたいですね。

